

## 青森近県における陥し穴集成

坂 本 真 弓・杉野森 淳 子

### 1 「陥し穴」の名称について

これまで、青森県ではTピットと呼ばれる縦長の土坑が太平洋側を中心に出土している。Tピットはトラップピット(TRAP PIT)の略称で、訳すと「陥し穴」である。函館空港第一地点の調査過程の中で吉崎昌一氏により初めて使用された名称である。[註1] 主に北海道内で使用されている。

一般に、陥し穴の平面形態は溝状・楕円形・円形に大別され、その底部に杭痕が見られるものもある。青森県では各々の観点からTピットの他に「溝状ピット」・「溝状土坑」を使用している。また、Tピットが出土している他県では「陥し穴状遺構」(岩手県)・「陥し穴」(北海道)などの名称も使われている。このようにひとつの遺構に対し、形態からの名称と機能からの名称が与えられている。この場合、ひとつのものに関し共通した認識が得られ難くなる可能性もある。よって、陥し穴およびTピットの名称を見直す必要がある。

本稿では青森県および北海道南部・秋田県・岩手県の「Tピット」および「陥し穴」・「陥し穴状遺構」と呼ばれている陥し穴を集成することで用語について考るものである。

### 2 分類 (田村1987参考)

陥し穴を平面形態から溝状ピット(A類)・楕円形ピット(B類)・円形ピット(C類)の3類型に分類する。楕円形・円形ピットは杭痕が検出されたもの、立地や分布状況から陥し穴の可能性の高いものをB類・C類とする。また、「杭痕」を「逆茂木痕」と呼称する場合もあるが(菊池1987)、青森近県においては逆茂木そのものが明らかな痕跡として残っていないため、「杭痕」と表現する。

### 3 各県の状況

#### 1) 青森県

青森県内では94遺跡から合計1851基の陥し穴が検出されている。内訳はA形態1835基(94遺跡)、B形態1基(1遺跡)、C形態15基(1遺跡)である。2遺跡を除いてほとんどがAの溝状ピットである。分布は太平洋沿岸に集中しているが、最近では津軽地方および内陸部にも広がる。一遺跡におけるA溝状ピットの数は100基以上を越えるものが太平洋側にみられ、ここでは陥し穴の配列に規則性があり、3~10基毎に並列している。青森県の陥し穴の特徴として、溝状ピットの底部に杭痕が見られないこと、陥し穴と考えられる楕円形・円形土坑が極端に少ないことが挙げられる。

#### 2) 北海道南部

道南では1208基の陥し穴が50遺跡から確認されている。形態はA類1185基(50遺跡)、B類19基(7遺跡)、C類4基(2遺跡)ある。沿岸部を中心に標高100m以下の低位段丘上に分布する。溝状ピットの中には底部に杭痕が残るもののがみられる。中には複数の杭痕が残る陥し穴もあり、設置される杭の数は1~5本である。溝状ピットには陥し穴と考えられる楕円形・円形土坑を伴う例がある。この陥し穴にも杭痕がみられるものもある。

#### 3) 岩手

県北から県南まで合計すると175遺跡で約2749例の検出例がある。平面形態で見るとA溝状の2,128

基、B楕円形の227基、C円形の394基で、岩手県の陥し穴の検出例は隣県の秋田に比べると遥かに多い。分布としては県北から県南まで幅広く認められる。海岸部としては三陸海岸沿いの中位段丘面に、内陸部としては北上川流域の低位段丘面及び中位段丘と低位段丘の境界である斜面上に見られる。1遺跡で検出される陥し穴の平面形態は各遺跡によってバラエティがある。県北ではA溝状の検出割合が高いのが目立つ。南に下るにつれてA溝状、B楕円形、C円形、の割合がほぼ同等になり、遺跡によつてはB楕円形、C円形の割合が高くなってくる。

#### 4) 秋田

秋田県での陥穴の検出例は県北地方を中心に約224例程度見られる。ほとんどが平面形態のA溝状のもので、A溝状208基、B楕円形0基、C円形16基である。立地としては段丘上に多く見られる。中でも鹿角市の大湯環状列石周辺で検出された陥し穴は主に環状列石周辺に多く見られる。列石とは無秩序に検出されていることから、列石よりも前に造られたものであるだろう。又、陥し穴と他の時代の遺構が重複して検出される例として、古代の集落跡が挙げられる。

### 4 陥し穴における自然科学的分析の現状と課題

これまで、陥し穴に関する自然科学的分析が行われた例はほとんどない。これは、陥し穴が遺構の堀込み面・出土遺物・切り合い関係などから縄文時代の遺構であることがほぼ確定的であること、陥し穴から出土する遺物が極端に少ないと動物遺体を伴って検出されることが無いという理由から科学的分析の対象から外されていた。このような中でも、堆積土に含まれる花粉から陥し穴周辺の環境を探ろうとする研究や[註2]、リン分析が行われている[註3]。花粉分析結果から、陥し穴周辺の古環境は、草地主体で樹木密度が疎らな様相であったと推定されている事例がある。また、リン分析では陥し穴堆積土中のリンの割合が少ないとから溝状ピットは墓壙とは違う用途を持つと推測される結果が提示されている。

### 5 おわりに

陥し穴には様々な形態がある。円形・楕円形の陥し穴は各県に分布するが、溝状の陥し穴は東北および北海道を中心に東日本に分布している。陥し穴をトラップピット（Tピット）と和訳した場合、Tピットのなかに溝状以外の形態のものも含まれることになる。

これまで県内では溝状ピットが他の陥し穴と併存せず、単独で検出していることから、Tピット＝溝状ピットの考え方が一般であった。現在、岩手・北海道では溝状ピットと楕円形・円形ピットが併存する例が見られる。今後、県内でも円形・楕円形の陥し穴が確認された場合、用いる名称に不都合が生じるため全国的に通用する名称を用いる必要がある。今後は従来の「Tピット」を用語として使わず、その形態から「溝状ピット」と呼称し、その機能を「陥し穴」と捉えたい。

本稿の作成に当たり、次の機関と個人から御教示・御指導を頂いた（順不同、敬称略）。青森県立郷土館、（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査センター、（財）北海道埋蔵文化財センター、秋田県埋蔵文化財センター、函館市教育委員会、福田友之、鈴木政志、越田賢一郎、遠藤香澄、佐藤智雄、福田裕二、櫻田隆、松本建速、羽柴直人、熊谷常正

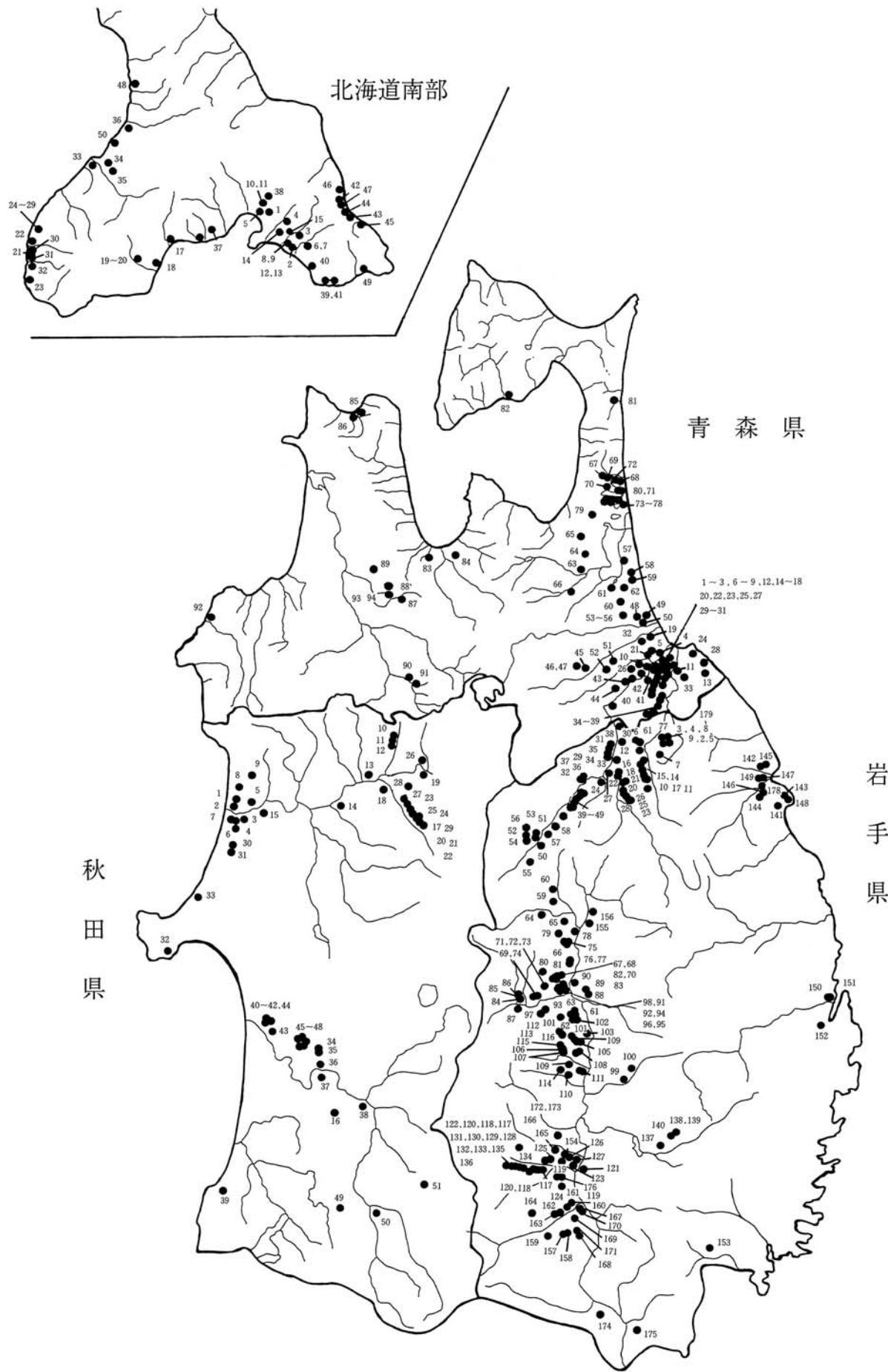


図1 陥し穴検出遺跡分布図

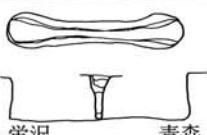
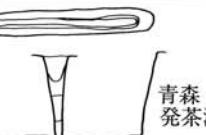
分類	名称	平面形態	類例(石岡憲雄1991より)				
A	溝状ピット 溝状土坑 (壙)						青森・Iwafuchi 青森・Hachimazawa 青森・Hachimazawa
B	楕円形土坑 長楕円形土坑						岩手・ 荒屋II 青森・田面木平(1) 岩手・五庵I 北海道・美沢IV
C	円形土坑 ビーカー状土坑						青森・鶴窪 青森・鶴窪 青森・長七谷地 岩手・大堤II

図2 分類図

- ・執筆はI、II、III1)・2)、Vを杉野森淳子が、III3)・4)、IVを坂本真弓が担当した。
- ・今回の陥し穴集成にあたって当センターにおいて陥し穴検出遺跡地名表をデータベース化することになった。データ自体は青森県埋蔵文化財調査センターで保存している。作成にあたっては、次の点に留意した。
  - 1 都道府県コード・市町村コード(「全国地方公共団体コード」による)、遺跡番号を用い、増加してゆくデータに対応する。
  - 2 「陥し穴」という名称のもの以外でも、平面形態・堆積状況・立地などから陥し穴と判断できたものは地名表に含めた。  
・次の該当する遺跡は今回の掲載から除外した。 1、概要のみ報告された遺跡 2、正確な位置が不明な遺跡
  - 3 データの検索が円滑に行われるよう掲載した表の属性以外に次の属性を設けた。[都道府県コード] [市町村コード] [遺跡番号] [出土遺物]  
・取り上げた陥し穴の属性は基本的に報告書内の記載を基にした。
  - 4 [等高線]項目中では、溝状・楕円形陥し穴(以下、省略)が等高線に対し平行な場合に「平・平行」、斜交している場合は「斜・斜交」、垂直に交わる場合を「垂・直・直交」と表記した。さらに、等高線に対し直交、斜交、平行している陥し穴群は「混」と表記し、陥し穴が平坦地に立地する場合「平坦」と表記した。

## 註釈

- 1 詳細な研究史については(福田1981)、(森田・遠藤1984)を参照して頂きたい。
- 2 引用・参考文献(山田1977・1991a・1991b)、(松山他1985)参考
- 3 引用・参考文献(武内1967)参考

## 引用・参考文献

- 石岡憲雄 1991 「「Tピット」について(再論)」『埼玉考古学論集-設立10周年記念論文集』財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 森田知忠・遠藤香澄 1984 「Tピット論」『北海道の研究1』考古編I 清文堂
- 菊池 実 1987 「縄文時代の陥し穴調査法と派生する問題点-大原II遺跡・村主遺跡検出の陥し穴群分析から-」『研究紀要』4 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 佐藤孝則 1983 「北海道における溝状ピットの自然科学的検討」『十勝考古』6 十勝川流域史研究会
- 佐藤孝則 1986 「動物生態学からみた溝状ピットの機能」『北海道考古学』22 北海道考古学会
- 武内収多 1967 『函館空港整備事業の内遺跡発掘調査実績報告-函館空港第I地点』
- 田村壯一 1987 「陥し穴状遺構の形態と時期について」『岩手県埋蔵文化財調査センター紀要』IV
- 福田友之 1989 「下北半島尾鷲・鷹架沼周辺の溝状ピット群」『考古学論叢II』 芹沢長介先生還暦記念論文集刊行会
- 渡辺俊一 1978 「厚真I遺跡のTピットについて」『苦小牧・郷土の研究』4
- 山田悟郎 1977 「溝状遺構内検出の黒色土の花粉分析について」『札幌市文化財調査報告書XV』札幌市教育委員会
- 山田悟郎 1991a 「4号落し穴から産出した花粉について」『静川9遺跡』苦小牧市教育委員会
- 山田悟郎 1991b 『清水町 上清水4遺跡・共栄2遺跡・共栄3遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第70集
- 松山 力・新渡戸 隆 1985 「石の窪(2)遺跡の花粉分析」『石の窪(1)・石の窪(2)・古宮遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第92集

表 陥し穴検出遺跡一覧

青森県

No	遺跡名	市町村名	数量	A	B	C	時期	等高線	標高(m)	備考	発行年	文献
1	岩ノ沢平	八戸市	11	11				平9, 直2	60~65	自然堆積	1992	市埋文調報46
1	岩ノ沢平	八戸市	3	3				直交	57~61		1993	市埋文調報50
2	牛ヶ沢(3)	八戸市	9	9			前期後半以降	直交	75~85	自然堆積	1984	県埋文調報86
3	鶴窪	八戸市	27	12		15	前期以降	平9, 直3	45~54	杭痕:C類8基	1983	県埋文調報76
4	壳場	八戸市	172	172				平146, 直26	16~34	自然堆積	1985	県埋文調報93
5	大タルミ	八戸市	9	9			前期以降	直8, 平1	45~47	自然堆積	1985	県埋文調報93
6	風張(1)	八戸市	3	3			後期以前	直交	24~27	自然堆積	1991	市埋文調報42
7	鴨平(1)	八戸市	7	7				直5, 平2	192~200		1983	県埋文調報74
8	鴨平(2)	八戸市	14	14				平7, 直7	170~180		1983	県埋文調報73
9	古宮	八戸市	3	3				斜2, 平1	78~83	自然堆積	1987	市埋文調報19
9	古宮	八戸市	4	4				平3, 直1	86~90		1985	県埋文調報92
10	古坂, 夏間木(1)	八戸市	11	11				平行	52~76	自然堆積	1988	市埋文調報23
11	坂中	八戸市	1	1				平行	60		1995	市埋文調報61
12	沢里山	八戸市	2	2				平1, 直1	90~92		1996	市埋文調報67
13	沢掘込	八戸市	95	95				直39, 平56	73~99		1992	県埋文調報144
14	白桿	八戸市	4	4			後期	平3, 直1	70~75	自然堆積	1993	市埋文調報51
15	白山平(2)	八戸市	8	8			中期以降	直5, 平3	94~95	自然堆積	1984	県埋文調報83
16	田面木平(1)	八戸市	32	31	1		後期以前	直27, 平5	77~103	自然堆積	1988	市埋文調報20
17	田面木平(2)	八戸市	1	1			後期以降	直交	103	自然堆積	1993	市埋文調報53
18	丹後谷地	八戸市	2	2				平1, 斜1	43~47		1986	市埋文調報15
19	長七谷地 2号	八戸市	58	58			BP5500年以降		15~20		1982	市埋文調報8
19	長七谷地	八戸市	75	75			中期以降	平49, 直24, 斜2	10~30		1979	県埋文調報51
19	長七谷地貝塚	八戸市	101	101			中期~晚期	直74, 平28	13~22		1980	県埋文調報57
20	長者森	八戸市	7	7				直4, 平3	65~70		1983	県埋文調報74
21	毛合清水(1) (2)	八戸市	4	4				平1, 直3	77		1989	市埋文調報29
22	鳥木沢	八戸市	1	1					60~65		1984	市埋文調報13
22	鳥木沢	八戸市	6	6				混:斜5, 平1	60~65	自然堆積	1985	市埋文調報17
23	土橋	八戸市	2	2			後期前葉以降	平行	140~172		1989	市埋文調報30
24	中崎	八戸市	1	1				直交	66~67		1995	市埋文調報64
25	葦窪	八戸市	5	5				直交	95~107		1984	県埋文調報84
26	咽平	八戸市	6	6			後期	平3, 直3	60~65		1991	市埋文調報43
27	昼夜沢	八戸市	9	9			前期~晚期	直7, 平2	170~175		1986	県埋文調報96
28	舟渡ノ上	八戸市	2	2			前期初頭	直交	35~36	自然堆積	1994	市埋文調報59
29	弥次郎窪	八戸市	3	3				直交	36~41		1990	県埋文調報128
30	湯浅屋新田(1)	八戸市	2	2					90~95		1984	市埋文調報13
31	湯浅屋新田(2)	八戸市	3	3				平行	93~94		1984	市埋文調報13
31	湯浅屋新田(2)	八戸市	2	2				平行	93~94		1987	市埋文調報19
32	和野前山	八戸市	108	108				直72, 平36	14~21		1984	県埋文調報82
33	野場(5)	階上町	1	1				平行	150	自然堆積	1993	県埋文調報150
34	石ノ窪(1)	南郷村	6	6				平5, 直1	210~217	人為・自然堆積	1982	県埋文調報69
35	石ノ窪(2)	南郷村	10	10			中期以降	斜交	200~205	自然堆積	1985	県埋文調報92
36	三合山	南郷村	1	1				直交	213	自然堆積	1982	県埋文調報69
37	田ノ上	南郷村	1	1				直交	200		1981	県埋文調報65
38	馬場瀬(2)	南郷村	1	1				直交	200		1982	県埋文調報70
39	四ツ役	南郷村	2	2				平1, 直1	175~190		1996	県埋文調報188
40	前比良	南部町	6	6			中期以降	直交	110	人為堆積2基	1988	県埋文調報108
41	西張(3)	福地村	3	3			後期以前	平2, 直1	23.5~27		1996	県埋文調報197
41	西張(3)	福地村	5	5			後期以前	平2, 直1	26~28		1997	県埋文調報213
42	雷	福地村	3	3				平2, 直1	90~100		1991	県埋文調報136
43	西山	福地村	9	9				直6, 平3	66~73	自然堆積	1991	県埋文調報136
44	館野	福地村	2	2			後期	平1, 直1	105~108		1989	県埋文調報119
45	幸神	倉石村	1	1			後期以前	斜交	80		1997	県埋文調報212
46	八戸久保2	倉石村	1	1				直交	85		1997	県埋文調報212
47	八戸久保3	倉石村	1	1				直交	85		1997	県埋文調報212
48	向山(4)	下田町	19	19				直15, 平4	15~40	人為・自然堆積	1991	県埋文調報134
49	下谷地(1)	下田町	1	1				平行	10		1988	県埋文調報109
50	中野平	下田町	16	16				平13, 直3	11~19		1991	県埋文調報134
50	中野平	下田町	27	27				平10, 直17	10~17		1996	町埋文調報7

No	遺跡名	市町村名	数量	A	B	C	時期	等高線	標高(m)	備考	発行年	文献
51	上蛇沢(1)	五戸町	9	9			中期末	平4, 斜5	87~95.5	自然堆積	1996	県埋文調報198
52	古街道長根	五戸町	2	2				平1, 直1	95		1976	県埋文調報29
53	堀切沢(2)	六戸町	10	10				平5, 直5	40~45	自然堆積	1992	県埋文調報141
54	堀切沢(3)	六戸町	9	9				平7, 斜2	45~50	自然堆積	1992	県埋文調報141
55	堀切沢(4)	六戸町	7	7				平4, 直3	50~52	自然堆積	1992	県埋文調報141
56	堀切沢(5)	六戸町	8	8				平5, 直3	43~45	自然堆積	1992	県埋文調報141
57	根井沼(1)	三沢市	2	2				平行	20~32	自然堆積	1988	市埋文調報4
58	小田内沼(1)	三沢市	2	2				平行	25	人為堆積	1988	県埋文調報107
59	小田内沼(4)	三沢市	4	4				平行	27.5~29	自然堆積	1992	市埋文調報10
60	上久保(1)	三沢市	10	10				平行	20~32	自然堆積	1995	市埋文調報12
61	平畠(3)	三沢市	3	3			後期	直交	24~25	自然堆積	1996	市埋文調報14
62	下夕沢	三沢市	25	25			前期中葉以降	平8, 直17	25~27	自然·人為堆積	1989	県埋文調報124
63	二ツ森貝塚	天間林村	3	3				直交	30.5~31		1996	村文化調報4
64	内蝦沢蝦夷館	東北町	7	7				直5, 平2	11~14		1990	町埋文調報2
65	搭ノ沢山(1)	東北町	1	1			前期以前	直交	80		1994	県埋文調報164
66	松原	上北町	4	4				直交	35~37	自然堆積	1983	県埋文調報77
67	富ノ沢(3)	六ヶ所村	1	1				直交	48~49		1993	県埋文調報147
68	家ノ前	六ヶ所村	3	3				斜交	22~23		1993	県埋文調報148
69	大石平	六ヶ所村	3	3				直交	47~48		1985	県埋文調報90
70	大石平	六ヶ所村	1	1				直交	45		1987	県埋文調報103
70	沖付(2)	六ヶ所村	1	1				平行	51		1979	県埋文調報48
70	沖附(2)	六ヶ所村	4	4				平2, 直2	54~58		1987	県埋文調報103
71	表館(1)	六ヶ所村	9	9				平行	10~14		1981	県埋文調報61
71	表館(1)	六ヶ所村	3	3				平行	8~18		1985	県埋文調報91
71	表館(1)	六ヶ所村	2	2				平1, 直1	13		1989	県埋文調報121
71	表館(1)	六ヶ所村	3	3				平行	10~15	人為堆積1, 自然堆積2	1990	県埋文調報126·127
72	上尾鯨(2)	六ヶ所村	1	1				平行	40~46		1988	県埋文調報114
73	幸畠(3)	六ヶ所村	1	1				斜交	25		1997	県埋文調報222
74	幸畠(6)	六ヶ所村	4	4				直交	30		1997	県埋文調報222
75	幸畠(7)	六ヶ所村	12	12			後期初頭	直7, 平5	37~43	人為堆積2基	1990	県埋文調報125
76	新納屋(1)	六ヶ所村	3	3				直2, 平1	15	自然堆積	1976	県埋文調報28
77	新納屋(2)	六ヶ所村	1	1				直交	10~12	自然堆積	1981	県埋文調報62
78	鷹架	六ヶ所村	3	3				平2, 直1	20	自然堆積	1981	県埋文調報63
79	千歳(13)	六ヶ所村	10	10				直6, 平4	80~90	自然堆積	1976	県埋文調報27
80	発茶沢(1)	六ヶ所村	1	1				平行	15	[小豎穴状遺構]	1974	県埋文調報9
80	発茶沢(1)	六ヶ所村	4	4				平行	16~18	自然堆積	1975	県埋文調報24
80	発茶沢(1)	六ヶ所村	430	430				直交	14~30	人為堆積1基	1982	県埋文調報67
80	発茶沢(1)	六ヶ所村	9	9				平行	26~30	自然堆積	1986	県埋文調報96
80	発茶沢(1)	六ヶ所村	36	36				直交	17~20	人為堆積2基	1988	県埋文調報116
80	発茶沢(1)	六ヶ所村	188	188			後期	直交	14~20		1989	県埋文調報120
80	発茶沢(1)	六ヶ所村	1	1				平行	18		1990	県埋文調報126
81	前坂下(1)(3)(5)~(8)	東通村	29	29				直22, 平7	8~26		1982	県埋文調報71
82	熊ヶ平	川内町	2	2				平行	25~26		1984	県埋文調報80
83	近野	青森市	1	1				直交	6~20		1977	県埋文調報33
84	螢沢	青森市	1	1			後期	直交	33		1979	青森市螢沢遺跡発掘調査団
85	山崎	今別町	7	7				直5, 斜2	9~30		1982	県埋文調報68
86	二ツ石	今別町	1	1			後期	平行	19~20	人為堆積	1989	県埋文調報117
87	源常平	浪岡町	4	4				平行	55		1978	県埋文調報39
88	山元(3)	浪岡町	17	17			中期末葉~後期前葉	平12, 直5	29~33		1994	県埋文調報159
89	寒吉	五所川原市	1	1			前期	平行	13		1997	県埋文調報207
90	砂沢平	大鰐町	3	3				平行	150	自然堆積, [土坑]	1980	県埋文調報57
91	大面	碇ヶ関村	1	1				直交	182	自然堆積, [溝状土坑]	1980	県埋文調報55
92	津山	深浦町	6	6				平5, 直1	62		1997	県埋文調報221
93	野尻(2)	浪岡町	5	5				平2, 直3	40~41		1995	県埋文調報186
94	野尻(4)	浪岡町	4	4				平1, 直3	41~43		1995	県埋文調報186

(注) 県埋文調報: 「青森県埋蔵文化財調査報告書」青森県教育委員会/市埋文調報: 「八戸市埋蔵文化財調査報告書」八戸市教育委員会、「三沢市埋蔵文化財調査報告書」市教育委員会/町埋文調報: 「下田町埋蔵文化財調査報告書」下田町教育委員会、「東北町埋蔵文化財調査報告書」東北町教育委員会: 「天間林村文化財調査報告書」天間林教育委員会

## 北海道

No	遺跡名	市町村名	数量	A	B	C	時期	等高線	標高(m)	備考	発行年	文献
1	石川1	函館市	61	61			後期以前	平35, 直26	30	2~4基毎の配列有り	1988	北埋調報45
2	石倉貝塚	函館市	2	2				平1, 斜1	45.5~49		1997	北埋文年報8
2	石倉貝塚	函館市	29	29				直14, 平10	45~50		1995	市教育委員会
2	石倉貝塚	函館市	27	27				直13, 平13	45~50		1996	市教育委員会
3	上湯川町	函館市	1	1				平行	34		1982	市教育委員会
4	権現台場	函館市	26	26			中期終末以降	平19;直7	49~52		1981	市教育委員会
4	権現台場	函館市	12	12			中期前葉	直8, 平4	49~52		1990	市教育委員会
5	サイベ沢	函館市	3	3							1985	市教育委員会
5	サイベ沢	函館市	6	6				平4, 斜2	29~30	自然堆積	1986	市教育委員会
6	豊原1	函館市	8	5	3						1987	市教育委員会
7	豊原2	函館市	109	106		3		直57, 平49	40~50	杭痕:3基, 配列有り	1994	市教育委員会
8	中野A	函館市	75	75				平57, 直18	40~50		1977	市教育委員会
8	中野A	函館市	7	7			4470±100	平4, 直3	49~50		1979	市教育委員会
8	中野A	函館市	51	51			早~前	平34, 直17	44~50	杭痕:4基	1991	北埋調報79·84
9	中野B	函館市	22	22			早期	直12, 平10	43~46		1977	市教育委員会
9	中野B	函館市	13	13				直7, 平6	42~45		1996	北埋調報97
9	中野B	函館市	29	29				直19, 平10	45~50	H5年調査	1994	北埋文年報6
9	中野B	函館市	97	97			早期	平52, 直45	40~50	H6年調査	1995	北埋文年報7
9	中野B	函館市	86	86				直49, 平37	40~50	H7年調査	1996	北埋文年報8
10	西桔梗	函館市	17	17							1974	函館圈開発事業団
11	西桔梗1	函館市	1	1				斜交	17.5		1996	北埋調報99
12	函館空港第1地点	函館市	54	54				平10, 直44	26~32	自然堆積	1967	42年度考古学協会発表要旨
13	函館空港第4地点	函館市	56	56			前期以降	平40, 直16	40~50		1969	市教育委員会
13	函館空港第4地点	函館市	108	108				平74, 直34	39~44		1977	市教育委員会
14	日吉町1	函館市	5	5				直交	17.5~15	自然堆積	1978	北海道文化財保護協会
15	見晴町B	函館市	4	4				直3, 平1	80~90		1979	市教育委員会
16	釜谷	木古内町	2	2				平行	20		1996	町教育委員会
17	新道4	木古内町	4	3	1	後期		直交	20	杭痕:C類1基	1984	北埋調報43
18	森越	知内町	2	2				斜交	15~19		1975	町教育委員会
19	湯の里4	知内町	1	1				平行	30~37	自然堆積	1987	北埋調報18
20	湯の里5	知内町	1	1			中期~後期初頭	直交	35		1987	北埋調報18
21	小浜	松前町	1	1				平行	18~22		1975	町教育委員会
22	大津	松前町	7	4	3	前期		平行	31		1974	町教育委員会
23	札前	松前町	6	6				直1, 平5	30~33		1985	町教育委員会
24	白坂第1地点	松前町	10	10				直交	29~30	杭痕:1基	1983	町教委:本報告
25	白坂第3地点	松前町	17	17				平2, 直17	55~59		1983	町教委:本報告
26	白坂第5地点	松前町	7	7				斜5, 平2	53~55.5		1983	町教委:本報告
27	白坂第7地点	松前町	8	8				平2, 斜3, 直3	42~46		1983	町教委:本報告
28	白坂第8地点	松前町	20	19	1			平8, 斜5, 直2	42~46		1983	町教委:本報告
29	白坂第9地点	松前町	15	8	7			直13, 平2	39~40		1983	町教委:本報告
30	高野2	松前町	1	1				斜交	21		1986	松前町郷土資料館
31	棚石	松前町	10	10			中期中葉	平7, 直3	32~34		1978	町教育委員会
32	茂草B	松前町	3	3				平行	30	小ピット(杭):1基	1979	町教育委員会
33	大岱沢A	上ノ国町	9	8	1			平1, 直8	51~54		1987	町教育委員会
34	新村4	上ノ国町	8	8				直交	11~16	自然堆積	1987	町教育委員会
35	豊田西	上ノ国町	1	1				直交	22.5	自然堆積	1985	北埋調報31
36	目名尻	厚沢部町	10	7	3			平3, 直7	10~20		1979	町教育委員会
37	石倉野3	上磯町	1	1			後期	斜交	31	杭痕:2基	1992	町教育委員会
38	大中山13	七飯町	1	1				平交	85.8	H6年調査	1995	北埋文年報7
39	姥子川2	戸井町	5	4	1	中期		平交	10~20	自然堆積	1995	町教育委員会
40	釜谷2	戸井町	108	108			中期末以降	直61, 平46	38~46		1988	町教育委員会
41	戸井貝塚	戸井町	9	9					4.5~7		1993	町教育委員会
42	臼尻B	南茅部町	1	1				平行	39		1985	町教育委員会
43	川汲B	南茅部町	1	1				平行	33.5		1986	町教育委員会
44	後駒B	南茅部町	8	8			中期	直交	43~45		1991	南茅部町埋蔵文化財調査団
45	木直C	南茅部町	1	1				平行	16		1981	町教育委員会
46	豊崎N	南茅部町	1	1			中期末葉~後期末葉	直交	65~80		1991	町教育委員会
47	ハマナス野	南茅部町	2	2				直交	21		1990	町教育委員会
47	ハマナス野	南茅部町	4	4				平行	22		1991	町教育委員会

No	遺跡名	市町村名	数量	A	B	C	時期	等高線	標高(m)	備考	発行年	文献
48	元和	乙部町	3	3				直交	46~50		1976	町教育委員会
49	日ノ浜砂丘1	恵山町	3	3				直交	9.5		1986	町教育委員会
50	茂尻C	江差町	8	8				直交	28~30		1989	町教育委員会

（註）北埋調報：「北海道埋蔵文化財調査年報」北海道埋蔵文化財調査センター

北埋年報：「調査年報」北海道埋蔵文化財センター

## 岩手県

No	遺跡名	市町村名	数量	A	B	C	時期	等高線	標高(m)	備考	発行年	文献
1	大堤II	軽米町	17	2	0	15	A中期, C前期	平坦	245~255	配列規則的, まとめあり	1987	県文振事業団報告書115集
2	大日向II	軽米町	1	1	0	0	時期不明	斜	168~173		1985	県文振事業団報告書100集
3	吠屋敷Ia	軽米町	4	4	0	0	時期不明	垂, 斜	171~185	雪谷川(新井田川支流)	1983	県埋文センター報告書第61集
4	吠屋敷Ib	軽米町	7	7	0	0	時期不明	混	174~194		1983	県埋文センター報告書第63集
5	君成田N	軽米町	2	2	0	0	時期不明	斜, 平行	220~230		1983	県埋文センター報告書第62集
6	糀口I	軽米町	2	2	0	0	縄文時代前期以降	平行2	248~256	中振浮石層を埋込む	1992	県文化振興事業団報告書175集
7	駒坂	軽米町	24	16	0	8			300	平行に並ぶ	1986	県文化振興事業団報告書98集
8	馬場野I	軽米町	5	5	0	0	中期末以降	混	196~211		1983	県埋文センター報告書68集
9	馬場野II	軽米町	4	4	0	0	時期不明	垂, 平行	195~215		1986	県文化振興事業団報告書99集
10	伊保内Ia·Ib	九戸村	2	2	0	0	時期不明	垂, 斜	301~311		1983	県埋文センター報告書53集
11	江刺家	九戸村	4	4	0	0	時期不明	垂3, 斜1	260~280		1984	県埋文センター報告書70集
12	沖I	二戸市	3	3	0	0	縄文時代	平坦	85~86	立地考察あり 馬淵川流域	1990	県文化振興事業団報告書152集
13	菅波I	九戸村	2	2	0	0	縄文時代後期前葉	斜	230~240	瀬月内川(新井田川支流)	1988	県文化振興事業団報告書139集
14	滝谷III	九戸村	5	0	5	0					1983	県埋文センター報告書49集
15	葉の木沢	九戸村	9	9	0	0	縄文時代早期以降	平坦	230~240	杭痕あり, 陰穴? 南部浮石混入	1990	県文化振興事業団報告書154集
16	馬場II	九戸村	6	5	1	0	縄文時代	平坦	85~86	杭痕, 馬淵川流域, 立地考察あり	1990	県文化振興事業団報告書152集
17	丸木橋	九戸村	2	1	1	1	縄文時代早期以降	?	220	瀬月内川(新井田川支流)	1993	県文化振興事業団報告書189集
18	一戸城跡	一戸町	2	2	0	0	時期不明	平行1	183~186	馬淵川流域	1983	町文化財調査報告書第6集
19	上野-昭和58年度-	一戸町	8	8	0	0	時期不明	混	170~190	馬淵川流域	1984	町文化財調査報告書第7集
20	上野B	一戸町	5	5	0	0	時期不明			町教委	1983	一戸バイパス関係埋文書(4)
21	北館B	一戸町	2	2	0	0		斜	175~180	陥穴状土壙	1981	一戸バイパス関係埋文書(2)
22	小井田III	一戸町	75	75	0	0					1985	県文化振興事業団報告書85集
23	御所野	一戸町	9	9	0	0		混			1992	町文化財調査報告書第29集
24	親久保I·II·III	一戸町	29	26	0	3		混	193~222	配列規則的, 杭痕	1987	県文化振興事業団報告書115集
25	田中3·4	一戸町	6	6	0	0	時期不明	混	173~182	町教委	1981	一戸バイパス関係埋文書(2)
26	田中5	一戸町	1	1	0	0	時期不明			町教委	1983	一戸バイパス関係埋文書(5)
27	鳥越館跡	一戸町	6	6	0	0	時期不明	斜	150~155	馬淵川流域	1988	町文化財調査報告書第21集
28	平船III	一戸町	5	3	2	0	早期		165~167	小井田川(馬渕川流域)	1984	県埋文センター報告書76集
29	青久保	二戸市	3	2	0	1	前期, 後期	斜	255~268	2基並列, 杭痕あり	1987	県文化振興事業団報告書118集
30	荒谷A	二戸市	4	4	0	0					1983	県埋文センター報告書57集
31	上田面	二戸市	6	6	0	0					1981	県埋文センター報告書23集
32	大久保	二戸市	100	72	4	24	早·前·後期	混	304~322	時期別のまとめり	1986	県文化振興事業団報告書101集
33	長瀬A	二戸市	4	4	0	0					1982	県埋文センター報告書35集
34	長瀬B	二戸市	8	8	0	0			100		1982	県埋文センター報告書36集
35	長瀬C·D	二戸市	2	2	0	0			100		1981	県埋文センター報告書22集
36	西久保	二戸市	5	5	0	0					1986	県文化振興事業団報告書101集
37	馬立I·II	二戸市	43	41	2	0	時期不明	混	259~278	並列あり	1987	県文化振興事業団報告書115集
38	馬場	二戸市	3	3	0	0	縄文時代	平坦	82~85	馬淵川流域	1990	県文化振興事業団報告書137集
39	飛鳥台地I	淨法寺町	137	126	0	11	縄文時代		200~220	考察·杭痕あり	1987	県文化振興事業団報告書101集
40	安比内I	淨法寺町	41	41	0	0		平22, 垂9, 斜10	215~219	配列等間隔, 考察あり	1986	県文化振興事業団報告書106集
41	大久保I	淨法寺町	4	4	0	0	時期不明	斜	237~246	安比川流域; 配列規則的, 杭痕	1985	県文化振興事業団報告書90集
42	柿ノ木平III	淨法寺町	34	29	3	2	中期後葉		260~280	新沢(安比川支流), 分類·杭痕あり	1985	県文化振興事業団報告書89集
43	海上I·II	淨法寺町	21	0	21	0	後期	混	235~264	配列規則的, 考察あり, 杭痕	1985	県文化振興事業団報告書90集
44	桂平	淨法寺町	36	14	3	19	縄文時代	垂9, 平行5	235~240	杭痕	1986	県文化振興事業団報告書110集
45	五庵I	淨法寺町	81	40	7	34	縄文時代~平安時代		240~251	安比川流域, 杭痕, 考察	1985	県文化振興事業団報告書第97集
46	五庵III	淨法寺町	3	3	0	0					1987	県文化振興事業団報告書101集
47	田余内I	淨法寺町	15	12	0	3	前期	斜6, 垂6	250~275	安比川流域; 杭痕	1986	県文化振興事業団報告書105集
48	沼久保	淨法寺町	26	24	2	0	縄文時代後期	垂13, 縦9, 平行4	230~245	安比川流域; 杭痕	1987	県文化振興事業団報告書101集
49	広沖	淨法寺町	7	5	2	0		垂5, 平行2	198~204	杭痕あり	1986	県文化振興事業団報告書111集
50	荒屋II	安代町	32	18	14	0	前期以降	混	335	配列等間隔, 杭痕	1981	県埋文センター報告書21集
51	有矢野	安代町	3	3	0	0	時期不明	平行2, 斜1	295~310	杭痕	1982	県埋文センター報告書38集
52	上の山VII	安代町	1	1	0	0	時期不明	斜	310~330	安比川流域, 杭痕	1983	県埋文センター報告書60集
53	上の山X	安代町	3	3	0	0	時期不明	混	310~315		1982	県埋文センター報告書38集

No	遺跡名	市町村名	数量	A	B	C	時期	等高線	標高(m)	備考	発行年	文献
54	上の山館	安代町	2	2	0	0	後期初頭以降	平行	311～313		1982	県埋文センター報告書40集
55	扇畠 I・II	安代町	5	5	0	0	時期不明	斜	380～400	安比川流域	1982	県埋文センター報告書39集
56	越戸 II	安代町	2	2	0	0	時期不明	垂	405～418		1981	県埋文センター報告書21集
57	湯の沢III	安代町	4	0	4	0	中期前葉以降	平行	305～320	火山灰分析、考察あり	1984	県埋文センター報告書79集
58	水神	安代町	40	11	29	0	後期		261～287	安比川(馬瀬川流域)、杭痕あり	1986	県文化振興事業団報告書96集
59	荒木田 II	西根町	1	1	0	0	時期不明	垂	315～340		1985	県文化振興事業団報告書92集
60	野口 II	西根町	2	2	0	0	縄文時代	平行2	315～326	涼川(北上川支流)	1988	県文化振興事業団報告書144集
61	稻荷	都南村	10	10	0	0	時期不明	平坦	126～127	溝状土壙	1979	県文化財調査報告第32集
62	湯沢	都南村	170	170	0	0	中期末以降		197～208	土壤で陥穴の可能性	1978	県埋文センター報告書2集
63	湯沢(A)・(B)	都南村	5	5	0	0	時期不明	平坦	126～127	湯沢川 溝状土壙	1979	県文化財調査報告第32集
64	長者屋敷	松尾村	2	2	0	0				県埋文センター報告書	1980	'80～'84, 12, 20, 77集
65	野駄	松尾村	1	1	0	0			300		1980	県埋文センター報告書11集
66	卯遠坂	滝沢村	1	1	0	0	時期不明	垂	207～209	諸葛川(零石川支流) 溝状土壙	1979	県文化財調査報告第31集
67	大久保	滝沢村	5	5	0	0	時期不明	斜	156～157	溝状土壙、考察・検出一覧表あり	1979	県文化財調査報告第31集
68	大緩	滝沢村	13	13	0	0	縄文時代	平坦		溝状土坑	1979	県文化財調査報告第31集
69	風林D	滝沢村	4	4	0	0	時代不明	平坦	216～221		1993	村文化財調査報告書第23集
70	高屋敷(II)	滝沢村	1	1	0	0	時期不明	平行	152～154		1979	県文化財調査報告第31集
71	高柳	滝沢村	11	11	0	0	時期不明	斜	138～142	諸葛川(零石川支流)	1987	村文化財調査報告書第7集
72	高柳	滝沢村	32	32	0	0	時期不明	斜		陥穴?	1979	県文化財調査報告書第31集
73	高柳遺跡-第3次-	滝沢村	2	2	0	0	時期不明	斜行	138～142	諸葛川(零石川支流)	1988	村文化財調査報告書第9集
74	高森	滝沢村	21	19	2	0	時期不明	混	170～180	村教委(2次)'87～6集	1990	村文化財調査報告書第13集
75	野沢	滝沢村	1	1	0	0	時期不明	平坦			1988	村文化財調査報告書第10集
76	野沢I・II	滝沢村	8	8	0	0	時代不明	垂	210～224		1991	村文化財調査報告書第18集
77	野沢VII	滝沢村	7	7	0	0	縄文時代前期	混	244～250	村内陥穴集成、陥穴?	1994	村文化財調査報告書第26集
78	葉の木沢I	滝沢村	4	4	0	0	時代不明	斜3, 平行1	200～210			村文化財調査報告書第集
79	柳沢	滝沢村	2	2	0	0	時期不明	斜	270～300		1988	村文化財調査報告書第10集
80	湯舟沢	滝沢村	20	20	0	0	時期不明	混	182～193	市兵衛川(諸葛川支流)	1986	村文化財調査報告書第2集
81	湯舟沢XIV	滝沢村	4	4	0	0	時期不明	垂、斜	176～183		1990	村文化財調査報告書第12集
82	耳取	滝沢村	42	31	6	5	歴代開拓標のものあり	斜	145～150		1986	村文化財調査報告書第3集
83	室小路II	滝沢村	10	10	0	0	時期不明	混	145～146	諸葛川(零石川支流)	1988	村文化財調査報告書第9集
84	桜松	零石町	5	5	0	0	時期不明	斜	170	黒沢川(零石川支流)	1982	県埋文センター報告書29集
85	塩ヶ森	零石町	3	3	0	0	時期不明		186～188	3基並列	1982	県埋文センター報告書31集
86	下平	零石町	34	34	0	0					1981	県埋文センター報告書14集
87	下長谷地	零石町	4	4	0	0		斜	190～195	零石川流域	1982	県埋文センター報告書28集
88	上八木田IV	盛岡市	3	3	0	0	時期不明	垂2、斜1	280～285	中津川(零石川支流)	1992	県文化振興事業団報告書177集
89	上八木田V	盛岡市	3	3	0	0		平行2, 斜1	270～285	中津川(零石川支流)	1992	県文化振興事業団報告書177集
90	黒石野平	盛岡市	1	1						西田遺跡の一部	1990	県文財調査報告第86集
91	小屋塚	盛岡市	2	1	0	1	時期不明	斜	133～135		1995	小屋塚遺跡-第1～27次調報書-
92	境橋	盛岡市	2	2	0	0	時期不明	平坦	136	諸葛川(零石川支流)	1986	県文化振興事業団報告書104集
93	下猿田III	盛岡市	6	6	0	0	時期不明	平行	175～182	配列規則的	1981	県埋文センター報告書16集
94	前九年I	盛岡市	5	4	0	1	大木8a式以前			V字状土坑の記載	1979	県文化振興事業団報告書35集
95	前九年II	盛岡市	1	1	0	0	時期不明	平坦	132	溝状ピット一覧表あり	1979	県文化財調査報告第35集
96	大新町(大館遺跡群)	盛岡市	5	5	0	0	大木式以降			堆積土から土器多数	1983	大館遺跡群S57年調査概報
97	繁VI	盛岡市	1	1	0	0	時期不明	垂	180～184		1980	県埋文センター報告書13集
98	長烟	盛岡市	1	1	0	0	時期不明		142		1979	県文化財調査報告第35集
99	観音堂遺跡-第4・7次-	大迫町	8	8	0	0	縄文時代	混	164	町調査報告書'83～8集	1991	町埋文調査報告第20集
100	経塚森	大迫町	5	5	0	0	縄文前期以降	斜5	260	溝状ピット考察あり	1992	県文化振興事業団報告書書174集
101	一本松	矢巾町	2	1	1	0	時期不明	平坦	127～128	溝状土壙 杭痕(B1)	1979	県文化財調査報告第32集
102	大渡野	矢巾町	1	1	0	0	時期不明	平坦	131		1979	県文化財調査報告第32集
103	徳丹城跡 S60年度発掘調査概報	矢巾町	2	2	0	0	時期不明				1986	町教委 徳丹城跡
104	尼掛	紫波町	1	1	0	0	縄文時代中期後葉以前		120	滝名川(北上川支流)	1988	尼掛遺跡発掘調査報告書
105	稻村	紫波町	3	3	0	0					1981	県埋文センター報告書19集
106	上平沢新田	紫波町	14	14	0	0	時期不明	平坦	134	溝状土壙	1980	県文化財調査報告第52集
107	栗田III	紫波町	56	50	0	6	早期以降			溝状土壙、配列規則的	1982	県文化財調査報告第69集
108	田頭	紫波町	2	0	0	2	縄文時代	?	102	杭痕(C2)	1979	県文化財調査報告第35集
109	中田	紫波町	1	1	0	0				北上川流域 杭痕	1981	県埋文センター報告書19集
110	西田	紫波町	14	5	0	9		混	102～104	北上川流域 杭痕	1980	県文化財調査報告第51集
111	西田東	紫波町	187	183	4	0	縄文時代中期以降か	垂直、斜	84～92	分類、考察あり	1995	県文化振興事業団報告書221集
112	古館駅前	紫波町	1	1	0	0	時期不明	?	108	V字状土壙	1979	県文化財調査報告第35集
113	古館橋	紫波町	3	3	0	0	時期不明	?			1979	県文化財調査報告第35集
114	墳館	紫波町	3	3	0	0	時期不明	斜	175～189	溝状土壙、配列規則的	1980	県文化財調査報告第52集

No	遺跡名	市町村名	数量	A	B	C	時期	等高線	標高(m)	備考	発行年	文獻
115	宮手	紫波町	37	29	8	0	縄文時代	平坦	132	溝状土壙、配列等間隔	1980	県文化財調査報告第52集
116	南日詰	紫波町	18	18	0	0	縄文中期前葉以降	平坦	102~103	覆土に遺物多い	1988	県文化振興事業団報告書136集
117	岩崎台地遺跡群	北上市	2	0	0	2	時期不明	平坦	100~110	杭痕あり	1992	県文化振興事業団報告書176集
118	梅ノ木台地Ⅰ	北上市	1	1	0	0	時期不明	平坦		陥穴?杭痕あり	1992	県文化振興事業団報告書162集
119	上鬼柳Ⅰ·IV	北上市	35	17	16	2	時期不明	平坦	91~93	陥穴?杭痕あり	1992	県文化振興事業団報告書160·179集
120	上反町	北上市	1	1	0	0	時期不明	平坦	123~124		1992	県文化振興事業団報告書181集
121	館Ⅳ	北上市	2	2	0	0	時期不明	平坦	51~67	陥穴?杭痕あり	1993	県文化振興事業団報告書187集
122	中屋敷	北上市	5	2	2	1	時期不明	斜	127	和賀川(北上川支流)、杭痕あり	1993	県文化振興事業団報告書182集
123	成田	北上市	4	1	0	3	時期不明	斜	79~84		1991	市文化財調査報告第64集
124	比久尼沢	北上市	4	2	0	2	縄文時代	平坦			1984	市文化財調査報告第36集
125	藤沢Ⅰc	北上市	71	71	0	0					1978	県文化振興事業団報告書1集
126	藤沢	北上市	11	11	0	0	縄文時代	平行、平坦	84~90		1982	県文化財報告第72集
127	坊館跡	北上市	2	2	0	0	縄文時代	斜2	73~80		1988	県文化振興事業団報告書145集
128	法量野Ⅰ	北上市	20	6	9	5	時期不明	垂直	127	和賀川(北上川支流)、杭痕	1993	県文化振興事業団報告書182集
129	八幡野Ⅱ	北上市	22	12	9	1	時期不明	平坦	133~127	和賀川(北上川支流)、杭痕	1993	県文化振興事業団報告書183集
130	石曾根	北上市	19	0	1	18	縄文早期末葉以降	平坦	127~124	放射性炭素年代測定・火山灰分析、杭痕	1992	県文化振興事業団報告書165集
131	梅ノ木Ⅱ、Ⅲ~Ⅵ	北上市	11	7	0	4	平安時代以前			溝状土壙、陥穴?杭痕あり	1981	県文化財調査報告第58集
132	煤孫	北上市	11	7	4	0		平坦	120~128	和賀川流域	1994	県文化振興事業団報告書196集
133	月館跡	北上市	4	1	3	0	縄文時代	平坦	120~130	杭痕あり	1992	県文化振興事業団報告書149集
134	鳥谷脇Ⅱ	北上市	8	8	0	0	時期不明	垂、斜			1988	町文化財調査報告書第19集
135	林崎館	北上市	42	4	11	27	縄文時代中期後葉	平坦	127~130	和賀川(北上川支流)、杭痕	1992	県文化振興事業団報告書163集
136	本郷	北上市	45	4	0	41	縄文時代中期以降	平坦	123~130	火山灰分析、杭痕	1992	県文化振興事業団報告書164集
137	寒風	遠野市	3	3	0	0			255~260		1982	県埋蔵センター報告書43集
138	高瀬Ⅰ	遠野市	30	22	2	6	縄文時代	混	269~273	考察あり、杭痕	1992	県文化振興事業団報告書155集
139	高瀬Ⅱ	遠野市	14	14	0	0	時期不明	平坦、斜	269~271	考察あり	1991	市埋蔵文化財調査報告書第4集
140	蓬田	遠野市	21	18	0	3	時期不明	平坦、斜	265		1991	市埋蔵文化財調査報告書第3集
141	上新町	久慈市	1	1	0	0	時期不明	平坦	40~41	溝状土壙	1979	市埋蔵文化財調査報告書第3集
142	源道	久慈市	17	17	0	0	縄文時代	?	22~40	まとめあり	1988	県文化振興事業団報告書138集
143	小袖Ⅱ	久慈市	6	6	0	0	時期不明	斜、垂	158~162		1987	市埋蔵文化財調査報告書第6集
144	小屋畠	久慈市	6	6	0	0	時期不明	混	30~38	久慈川流域	1984	県埋蔵センター報告書80集
145	田中Ⅳ	久慈市	14	13	0	1	縄文時代	混			1987	県文化振興事業団報告書117集
146	中長内	久慈市	38	34	0	4	時期不明	混	31~42	市埋蔵文化財調査報告書M-8集	1988	市埋蔵文化財調査報告書10集
147	鼻館跡	久慈市	85	85	0	0			30	夏井川(久慈川)分類、考察あり	1992	県文化振興事業団報告書171集
148	三崎(Ⅲ)	久慈市	7	7	0	0	時期不明	斜	181~182	長楕円形土壙	1978	市埋蔵文化財調査報告書第2集
149	明神	久慈市	1	1	0	0	時代不明	平行	20~30		1992	県文化振興事業団報告書150集
150	青猿Ⅰ	宮古市	4	4	0	0	時期不明	平行、斜	58~60	閉伊川流域	1988	市埋蔵文化財調査報告書14
151	長根Ⅰ	宮古市	5	3	2	0	時期不明	混	26~44	閉伊川流域	1990	県文化振興事業団報告書146集
152	払川Ⅰ	宮古市	9	5	4	0	時期不明	平行、斜	21~24	杭痕、土壤-陥穴の可能性	1991	市埋蔵文化財調査報告書29
153	友沼Ⅲ	陸前高田市	7	5	2	0	時期不明	平行	17~21	杭痕あり	1990	市文化財調査報告書第14集
154	白幡林	石鳥谷町	4	2	0	2	時期不明		99~101		1996	白幡林遺跡発掘調査報告書
155	川口Ⅰ	岩手町	29	13	7	9	時期不明	混		北上川流域、配列規則的、杭痕あり	1984	県埋蔵センター報告書83集
156	川原本	岩手町	20	20	0	0	時期不明	平行	299~300	付属するピット2基	1995	町埋蔵文化財調査報告書第4集
157	尼坂遺跡-第2~4次-	胆沢町	19	14	3	2	時期不明	平坦		杭痕'92~22集		町教委'93~'94' 94~25集
158	国分	胆沢町	6	6	0	0	時期不明	平坦			1991	町埋蔵文化財調査報告書21集
159	小十文字	胆沢町	7	7	0	0	時期不明	平坦		V字状土壙	1981	町埋蔵文化財調査報告書11集
160	揚揚古墳・五葉館跡	金ヶ崎町	1	1	0	0	時期不明	平坦	65		1991	町文化財調査報告書21集
161	上原	金ヶ崎町	8	0	4	4	時期不明	平坦	70~80		1994	町文化財調査報告書31集
162	柏山館跡	金ヶ崎町	8	8	0	0	時期不明		77~79	分類あり	1990	町文化財調査報告書18集
163	館山	金ヶ崎町	76	21	14	41	時期不明		80~90		1983	県埋蔵センター報告書65集
164	和光6区	金ヶ崎町	2	0	2	0	縄文時代	斜	150~160		1985	県文化振興事業団報告書88集
165	笠間館	花巻市	71	45	3	23	縄文時代		99~101	配列等間隔	1987	県文化振興事業団報告書115集
166	万丁目	花巻市	3	3	0	0	時期不明	平坦	96	杭痕	1986	県文化振興事業団報告書102集
167	駢上¶	水沢市	5	5	0	0		混	63~64	溝状土坑、考察あり	1982	市文化財報告書第7集
168	袖矢地	水沢市	12	4	0	8					1981	県文化財報告第60集
169	西大畑	水沢市	4	4	0	0					1981	県文化財報告第60集
170	東大畑	水沢市	11	0	7	4	時期不明	平坦		杭痕あり	1982	県埋蔵センター報告書44集
171	南矢中	水沢市	39	35	1	3					1981	県文化財報告第60集
172	新平	江釣子村	1	1	0	0	時期不明	平坦	53		1985	県文化振興事業団報告書91集
173	猫谷地	江釣子村	3	3	0	0	時期不明	平坦	71~72	3基並列	1982	県文化財報告第71集
174	大平	一関市	15	14	1	0	時期不明	斜、垂	78~82		1984	市教委 狐禪寺城跡・大平遺跡
175	富周館	藤沢町	1	1	0	0	時期不明	斜	116		1994	町文化財調査報告書第13集
176	上鬼柳Ⅱ	北上市	4	3	0	1	時期不明	斜	96~97	杭痕あり、和賀川流域	1992	県文化振興事業団報告書161集

No	遺跡名	市町村名	数量	A	B	C	時期	等高線	標高(m)	備考	発行年	文 献
177	皂角子久保VI	軽米町	17	6	0	11		平行, 斜	250~253		1988	県文化振興事業団報告書129集
178	平沢I	久慈市	38	38	0	0		混	106~110		1988	県文化振興事業団報告書125集
179	水吉VI	軽米町	22	1	0	21			98~110	杭痕あり	1996	県文化振興事業団報告書219集

（註）県文化振興事業団報告書：「財岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書」財岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

県埋文センター報告書：「財岩手県埋文センター文化財調査報告書」財岩手県埋蔵文化財センター

### 秋田県

No	遺跡名	市町村名	数量	A	B	C	時期	等高線	標高(m)	備考	発行年	文 献
1	上ノ山II	能代市	2	2	0	0	時期不明	斜1, 平行1	30	米代川流域	1986	県教委第137集
2	金山館	能代市	1	1	0	0	時期不明	平坦	20	米代川流域	1986	市教委・金山館遺跡報告書
3	石丁	能代市	2	2	0	0	時期不明	平行, 斜	30~32		1989	県教委第178集
4	十二林	能代市	8	8	0	0	時期不明	平行, 斜	20~27		1989	県教委第178集
5	館ノ下I	能代市	1	1	0	0					1979	県教委第62集
6	福田	能代市	1	1	0	0	時期不明	斜	20~30		1989	県教委第178集
7	腹鞍の沢	能代市	10	10	0	0	時期不明	垂5, 斜	36~38	米代川流域	1982	県教委第94、97集
8	土井	八森町	2	2	0	0	時期不明	斜、平行	50~70		1984	県教委第111集
9	中田面	崎浜村	5	5	0	0	時期不明	混	30		1980	県教委第74集
10	大岱I	小坂町	2	2	0	0	時期不明	平行, 斜	231~235		1984	県教委第109集
11	白長根館I	小坂町	7	7	0	0	時期不明	?	215~220		1984	県教委第120集
12	はりま館	小坂町	14	14	0	0		垂, 斜	200~203	配列等間隔、小坂川流域	1984	県教委第109集
13	鳶ヶ長根IV	大館市	1	1	0	0	時期不明	?	115	米代川流域	1984	県教委第84集
14	藤株	鷹巣町	2	2	0	0	時期不明	平坦	40	小森川(米代川流域)	1981	県教委第85集
15	竜毛沢館	二ツ井町	3	3	0	0	縄文時代	斜		米代川流域	1990	県教委第188集
16	石神	大曲市	2	2	0	0	時期不明	斜	65~75	小出川流域、秋田県の陥穴集成あり	1990	県教委第191集
17	案内VI	鹿角市	1	1	0	0	時期不明	?	220~240		1984	県教委第115集
18	太田谷地館	鹿角市	3			3					1989	県教委第183集
19	大湯環状列石	鹿角市	26	26	0	0	縄文時代後期	斜8, 垂9, 平行1	150~190	'86'88'91'92'95市委	31·35·42·43·52·54集	
20	柏木森	鹿角市	1	1	0	0	時期不明		200		1982	県教委第105集
21	北の林I	鹿角市	16	16	0	0		垂, 斜	200~205	米代川流域	1982	県教委第89集
22	北の林II	鹿角市	21	21	0	0	時期不明	混	200	配列規則的	1981	県教委第90集
23	妻の神III	鹿角市	13	13	0	0	時期不明	平行, 斜	161~163	配列等間隔	1984	県教委第108集
24	猿ヶ平I	鹿角市	1	1	0	0	時期不明	斜	203~205		1982	県教委第91集
25	猿ヶ平II	鹿角市	2	2	0	0	時期不明	平行, 斜	164	米代川流域	1983	県教委第99集
26	下砂沢	鹿角市	1	1	0	0	時期不明	垂	160~180	大湯川(米代川流域)	1990	市教委第40集
27	下乳牛	鹿角市	1	1	0	0	時期不明	垂	138	米代川流域	1984	県教委第119集
28	高市向館	鹿角市	2	2	0	0	時期不明		150~152	間瀬川	1982	市教委第22集
29	中の崎	鹿角市	1	1	0	0	時期不明	垂	180~183	米代川流域	1982	県教委第105集
30	鴨子台	八竜町	6	5	0	1	時期不明	斜、平行	34		1992	県教委第230集
31	八幡台	八竜町	2	2	0	0	時期不明	垂、平行	19~33		1992	県教委第230集
32	大烟台	男鹿市	2	2	0	0	時期不明	斜	40		1979	日本鉛業株式会社船川製油所
33	三十刈	男鹿市	4	2	0	2	時期不明	斜、垂	30~36	陥穴？杭痕あり	1984	県教委第110集
34	上の山II	協和町	6	6	0	0	時期不明	平坦	50	淀川(雄物川流域)	1988	県教委第166集
35	館野	協和町	1	1	0	0	時期不明	平坦	45	淀川(雄物川流域)	1988	県教委第166集
36	半仙	協和町	8	3	0	5	時期不明	平行2, 斜1	21~32	陥穴？杭痕あり	1989	県教委第180集
37	上野台	西仙北町	1	1	0	0	時期不明	斜	55~60	雄物川流域	1989	県教委第180集
38	払田柵跡	仙北町	4	4	0	0	時期不明	平坦	35		1992	県教委第225集
39	下岩ノ沢	仁賀保町	1	1	0	0	縄文時代	垂	66	大沢川流域	1986	町教委・下岩ノ沢跡発掘調査報告書
40	地蔵田A	秋田市	1	1	0	0	時期不明	斜	30	岩見川(雄物川支流)	1994	秋田新都市開発整備事業関係
41	下堤c	秋田市	1	1							1987	市教委・秋田新都市開発関係
42	下堤D	秋田市	4	4	0	0	時期不明	?	40		1982	市教委・下堤D遺跡報告書
43	諏訪ノ沢	秋田市	2	2	0	0		?	35	雄物川流域	1993	市教委・諏訪ノ沢遺跡
44	湯ノ沢F	秋田市	1	1							1984	秋田臨空港新都市開発関係報書
45	石坂台I・III	河辺町	2	2	0	0	時期不明	垂	45~47	岩見川(雄物川流域)	1985	県教委第125集
46	石坂台IV	河辺町	4	1	0	3	時期不明	斜	45~49	杭痕あり	1988	県教委第150集
47	石坂台VII	河辺町	1	1					60~65		1988	県教委第150集
48	松木台III	河辺町	15	15	0	0	時期不明	斜	40		1986	県教委第150集
49	高橋山II	羽後町	2	0	0	2	中期末		230~240	石沢川流域	1987	町教委・町内遺跡発掘調査概報
50	宮の前	稻川町	1	1	0	0	時期不明	平坦	123	皆瀬川流域	1979	県教委第64集
51	小田(5)	山内村	3	3	0	0	時期不明	平行	129	横手川流域	1994	県教委第243集

(注) 県教委：「秋田県文化財調査報告書」秋田県教育委員会

秋田臨空港新都市開発関係報書：「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書」秋田市教育委員会

秋田新都市開発整備事業関係：「秋田新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書」秋田市教育委員会